S-Stage eco 取扱説明書

（レギュラーガソリン仕様）

・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

商品番号：０１－０５－００６６（カムシャフト付属）
：０１－０５－００９０（カムシャフト無）
ボア径：６０mm　ストローク：５５.２mm
排気量：１５６ｃｃ

適応車種及びフレーム番号
アドレスＶ１２５／Ｇ:ＣＦ４６Ａ－１００００１～
アドレスＶ１２５Ｓ　:ＣＦ４ＭＡ－１００００１～

～特　徴～

ノッキングを軽減する圧縮比に調整する事で、レギュラーガソリンの使用を可能にしました。これにより燃料コストを減らす事が出来ます。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、ＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳＲ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換して下さい。その後に、スパークプラグ電部の焼け具合により番数を決定して下さい。

! Ｆ.Ｉ．コントローラーについての注意！

Ｓ－Ｓｔａｇｅ　ｋｉｔのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ずＦ.Ｉ．コントローラーをご使用下さい。

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎この製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やスズキ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具などの準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼されることをお薦め致します。
◎この製品を取り付けての一般公道の走行は出来ません。
◎製品を加工等された場合や取り付けされた場合は保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

⚠注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・この製品は競技用の為、一般公道の走行は出来ません。（運転者本人が罰せられる対象になります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠警告　この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

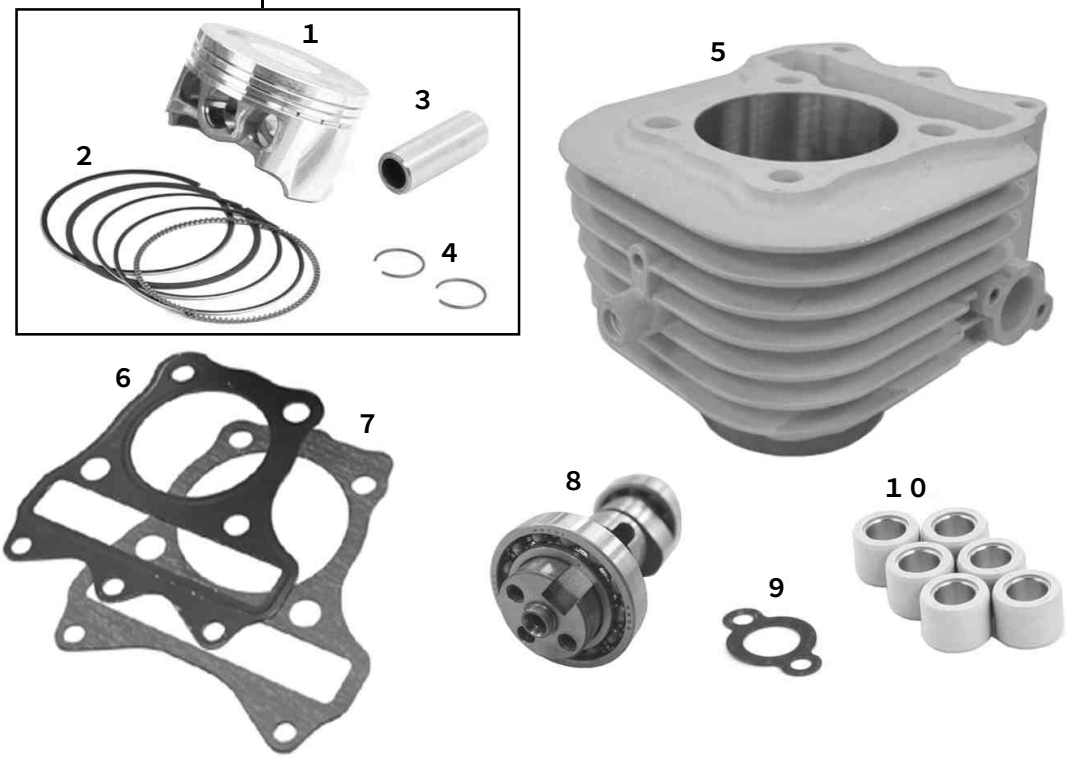
◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対しては、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

○ネジについて

◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。
◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から３～４回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことを言います。
◇ネジを締めるということは、ネジを緩まないように締めることを言います。その目安をボルトごとに、折れない・緩まない数値で表したのが規定トルクです。
◇トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締められるのであれば試して下さい。但し、弊社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

～商　品　内　容～

０１－０２－０１５２



番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン　６０mm	1	１３１０１－３３Ｇ－Ｔ１０	1
2	ピストンリングセット　６０mm	1	１３０１１－６００－Ｔ００	1
3	ピストンピン　１４mm	1	１３１１１－ＧＮ１－Ｔ０２	1
4	ピストンピンサークリップ　１４mm	2	００－０１－００５２	6
5	シリンダー　６０mm	1	１２１０１－３３Ｇ－Ｔ０１	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1	１２２５１－３３Ｇ－Ｔ０１	1
7	シリンダーガスケット	1	１２１９１－３３Ｇ－Ｔ００	1
8	カムシャフト	1	０１－０８－０３１１	1
9	テンショナーガスケット	1	１４５２３－３３Ｇ－Ｔ００	1
１０	ウェイトローラー（１５ｇ）	6	０２－００－０００４	3

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。
※０１－０５－００９０には、カムシャフトは付属しておりません。

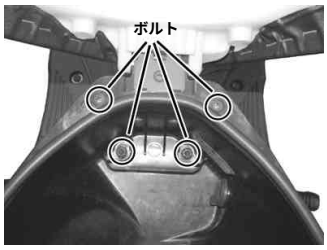
～取　り　付　け　要　領～

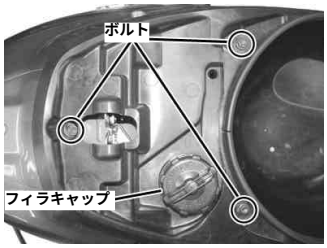
●取り外し

★ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにする。
★取り外したボルトやナットは無くさないようにどの場所に使用するか分かるように保管する。

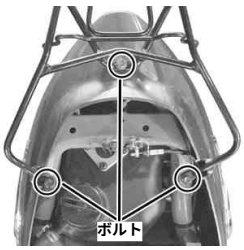
①ボディーカバーの取り外し

◇メインキーでシートを開け、フィラーキャップ、ボルト７本を取り外しトランクボックスを取り外す。
※ＤＣソケット付の車種はカプラを外す。

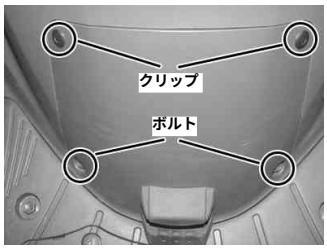


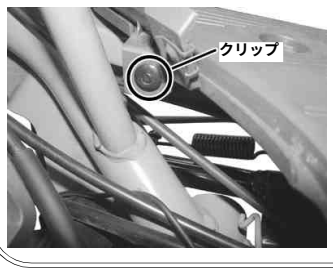


◇フィラーキャップを確実に取り付ける。
◇ボルト６本を外しリアキャリアを取り外す。

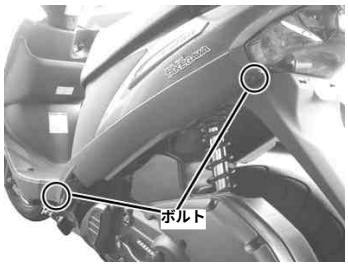


◇ボルト２本、クリップ２本を外しメンテナンスリッドＮｏ.２を取り外す。





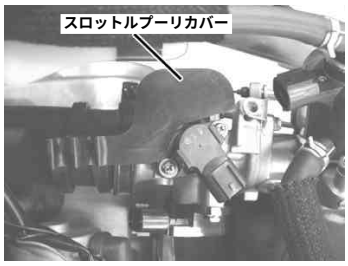
◇ボルト４本、クリップ２本を外しリアコンビネーションランプとフレームカバー／フレームサイドロアカバーを外す。



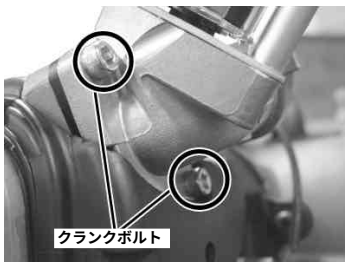
②インテークパイプ＆スロットルボディーの取り外し

◇クリップを外し、インテークパイプホールカバーを取り外す。

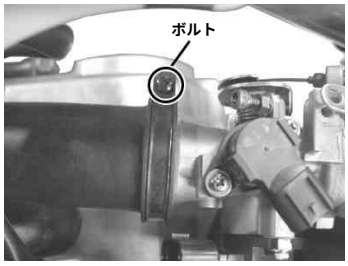
◇スロットルプーリカバーを取り外す。



◇インテークパイプのクランクボルトを緩める。



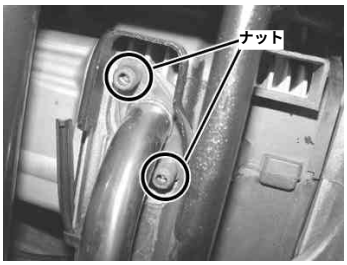
◇インテークパイプマウンティングボルトを外し、インテークパイプ＆スロットルボディーを共に外す。



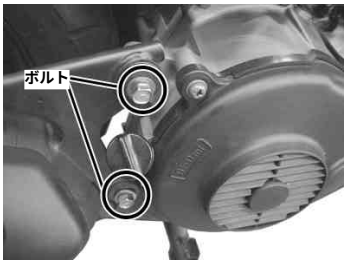
◇外したインテークパイプ＆スロットルボディーはフレームに結んで固定しておく。

③エキゾーストパイプの取り外し

◇エキゾーストパイプナットを２個外す。



◇マフラマウンティングボルトを２本外す。

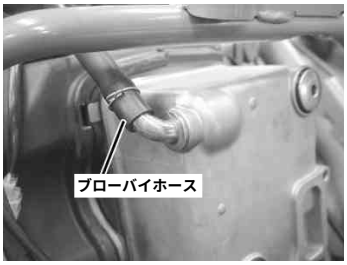


◇マフラー、およびエキゾーストガスケットを取り外す。

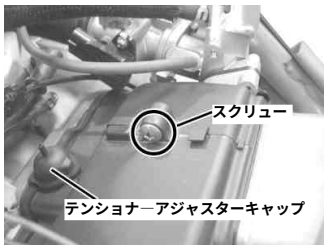
④ファンカウリング、シリンダーカウリングの取り外し

◇スパークプラグキャップを外す。

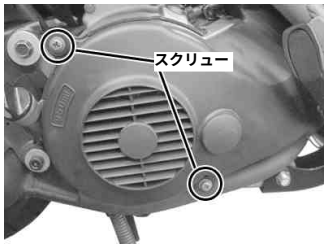
◇エンジン温度センサーカプラを外す。
◇ブローバイホースを外す。

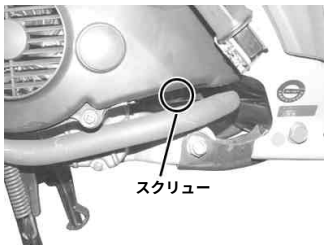


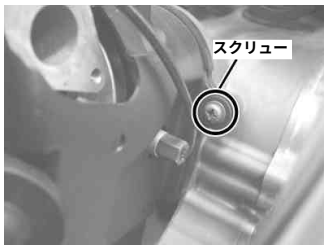
◇テンショナ―アジャスターキャップを外す。



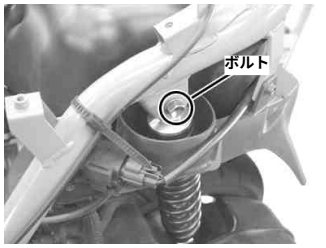
◇ファンカウリング側のボルト４本、シリンダーカウリング側のボルト１本を外す。
※ファンカウリング、シリンダーカウリングはまだ取り外せません。



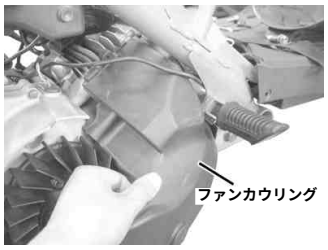




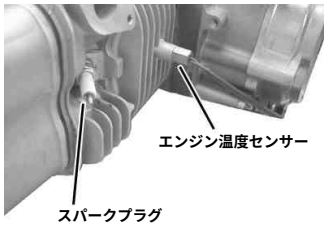
◇リアショックアブソーバーのアッパーマウントボルトを外し、車体後部を持ち上げる。



◇車体後部を持ち上げて出来た隙間からファンカウリングを下側に、シリンダーカウリングを上側から引き抜く。
（エンジン温度センサーカプラに注意する事）

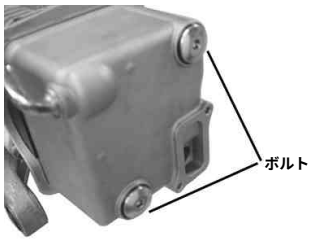


◇リアショックアブソーバーのアッパーマウントボルトを仮締めしておく。
◇エンジン温度センサー、スパークプラグを取り外す。



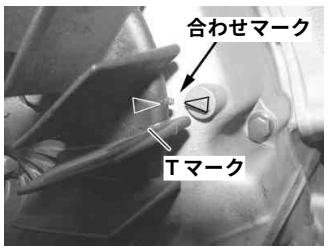
⑤シリンダ―ヘッドカバーの取り外し

◇シリンダーヘッドボルト２本を外し、シリンダーヘッドカバーを取り外す。

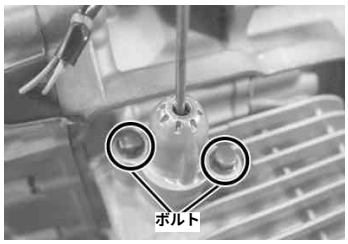


⑥カムスプロケットの取り外し

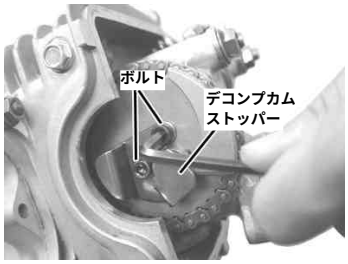
◇クーリングファンナットを回しクーリングファン外周部の合わせマーク（△印）とマグネットカバーのＴマーク（△印）を合わせる。また、カムチェーンスプロケットのケガキ線とシリンダ―ヘッド上面を合わせてピストンを圧縮上死点にする。
★この時カム山が燃焼室の方を向いていなければクーリングファンを更に一周回し圧縮上死点にする。

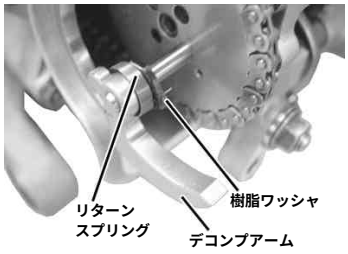


◇カムチェーンテンショナーアジャスターのスクリューを細いマイナスドライバーで右回転に一杯まで回しプッシュロッドを縮ませた状態でロックさせ、カムチェーンテンショナーアジャスター、ガスケットを取り外す。



◇クーリングファンナットをレンチ等で回り止めし、ボルト２本を外す。
◇カムシャフトのデコンプカムストッパー、デコンプアーム、リターンスプリング、及び樹脂ワッシャを取り外す。

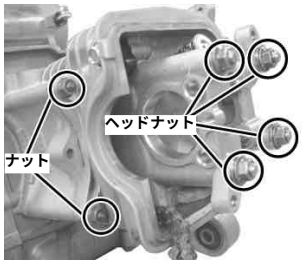




◇カムシャフトスプロケットを取り外す。
★カムチェーンをクランクケース内に落とし込まない様に注意して下さい。

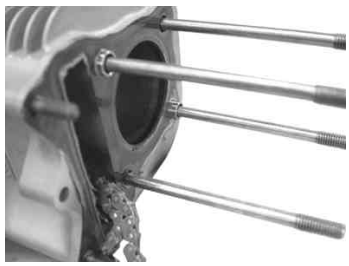
⑦シリンダ―ヘッドの取り外し

◇先にシリンダ―ヘッドサイドナット２個を外し、シリンダ―ヘッドナット４個を対角に数回に分けて緩め、外す。



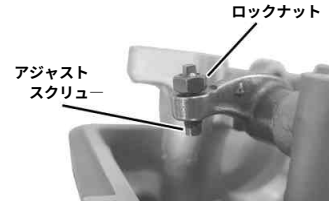
※写真の形のヘッド、シリンダ―の場合はサイドナットを計３個外す。

◇ワッシャ４枚を外し、シリンダ―ヘッドを取り外す。
★シリンダ―ヘッドを取り外す際は両サイドを持って垂直に上げて下さい。また外れ難い場合はプラスチックハンマで軽くショックを与えシリンダ―ヘッドを浮かせます。
◇ノックピン２個とシリンダ―ヘッドガスケットを取り外す。
★ノックピン２個は再利用します。

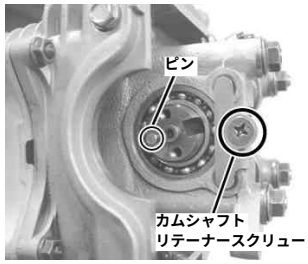


⑧カムシャフトの取り外し

◇ロッカーアームのロックナットを緩め、アジャストスクリューを緩める。

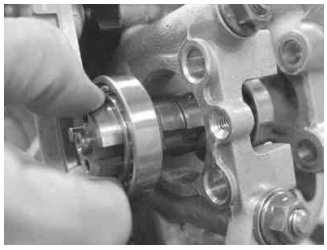


◇カムシャフトのカムスプロケット取り付け面にあるピンを抜く。
※このピンは再使用するので無くさない事。



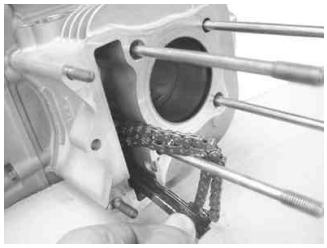
◇カムシャフトリテーナースクリューを外しカムシャフトリテーナーを外す。
◇ロッカーアームシャフト２本を引き抜き、ロッカーアームを外す。
※ロッカーアームシャフトが外れにくい場合は、ネジ径８mm、ピッチ１．２５のボルトをねじ込んで引き抜く。

◇カムシャフトを取り外す。

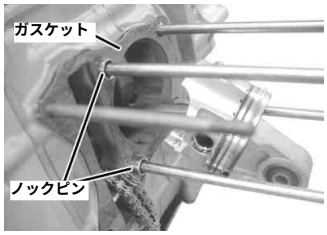


⑨シリンダ―の取り外し

◇カムチェーンガイドを上に引き抜き、シリンダ―を外す。
★シリンダ―を取り外す際は両サイドを持って垂直に上げて下さい。また外れ難い場合はプラスチックハンマで軽くショックを与えシリンダ―ヘッドを浮かせます。



◇ノックピン２個とガスケットを取り外します。
★ノックピン２個は再利用します。



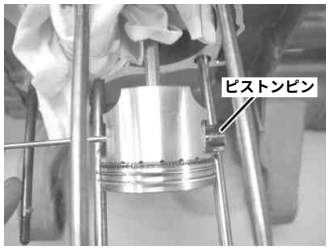
◇シリンダ―が外れた後はクランクケース内にゴミが入らないようにきれいなウエス等をシリンダ―ホールとカムチェーンホールに詰め込む。

◇ガスケットがクランクケースに残った場合はスクレーパーやカッターナイフできれいに取り除いておく事。
★クランクケースにキズを付けない様に注意して下さい。

⑩ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。
★ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れやすい。

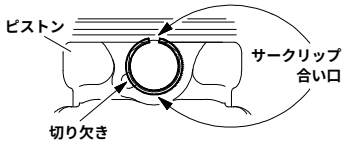
◇サークリップを取り外した方へピストンピンをドライバー等で押し出し、ピストンを取り外す。



●S―Stage KITの取り付け

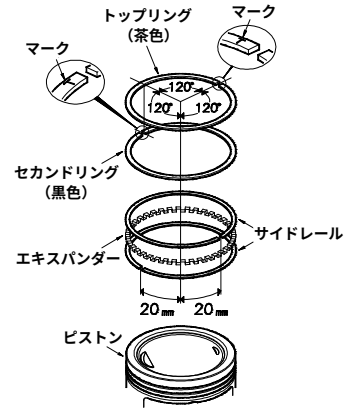
①ピストンの取り付け

◇ピストンのピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付ける。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける事。



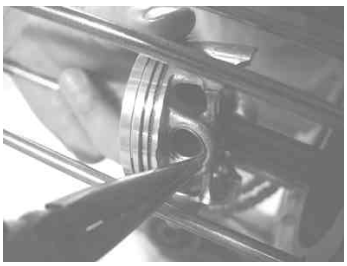
※取り付け中にピストンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付ける事。

◇図を参考にしてピストンリングを取り付ける。
エキスパンダー、サイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。

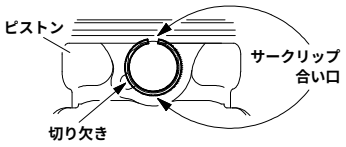


◇ピストンピン、ピストンピン穴、コンロッドのピストンピン穴にきれいなエンジンオイルを塗布する。

◇ピストン頂点のＩＮマークが上（吸気側）を向くようにコンロッドに取り付ける。

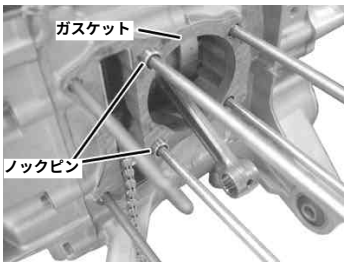


◇付属のピストンピンサークリップをもう片側のピン穴に取り付ける。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける事。



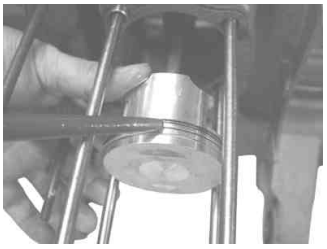
②シリンダ―の取り付け

◇クランクケースに詰めていたウエスを外す。
◇カムチェーンホールを覗き、カムチェーンがクランクシャフトのカムスプロケットから外れていないか確認する。
◇クランクケースとシリンダ―の合わせ面をシンナー等で脱脂し、きれいにする。
◇ノックピン２個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付ける。



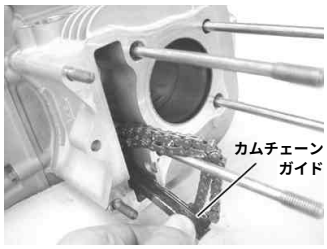
◇シリンダ―の内側にきれいなエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。

◇ピストン全周面と、ピストンリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。



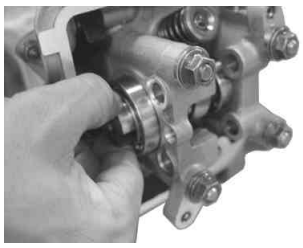
◇ピストンリングを指で少しずつピストンの溝にはめながらシリンダ―にピストンを入れる。
◇ピストンがシリンダ―にはまったらカムチェーンをシリンダ―のカムチェーンホールに通す。

◇シリンダ―をクランクケースにはめ込みカムチェーンガイドを組付ける。



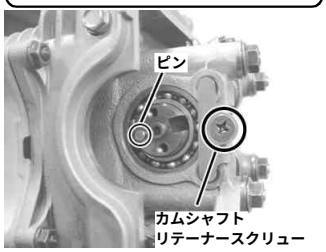
③カムシャフトの取り付け

◇付属のカムシャフトのカム山部にきれいなエンジンオイルを塗布し、シリンダ―ヘッドに取り付ける。
◇ノーマルカムシャフトに取り付けられていたピンを取り付ける。



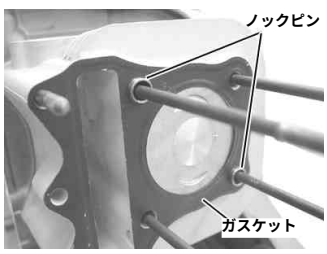
◇ロッカーアームシャフトにきれいなエンジンオイルを塗布し、ロッカーアームを取り付ける。
◇ロッカーアームシャフトのネジ部をカムチェーン側に向く様に取り付ける。
◇カムシャフトリテーナを取り付けカムシャフトリテーナス―クリューを締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

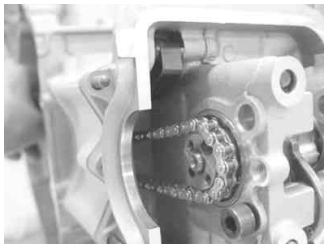


④シリンダ―ヘッドの取り付け

◇シリンダ―とシリンダ―ヘッドの合わせ面をシンナー等で脱脂し、きれいにする。
◇付属のシリンダ―ヘッドガスケットとノックピン２個を取り付ける。

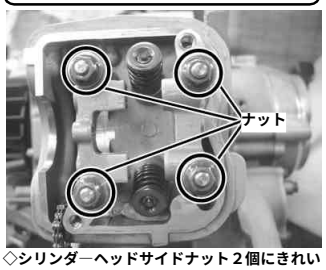


◇カムチェーンをシリンダ―ヘッドのカムチェーンホールに通しながらシリンダ―ヘッドを取り付ける。



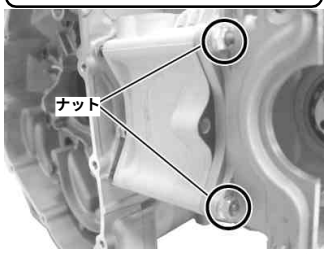
◇ワッシャを４枚取り付け、きれいなエンジンオイルと塗布したシリンダ―ヘッドナット４個を対角線上になるように数回に分けて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：２５Ｎ・ｍ（２.５ｋｇｆ・ｍ）



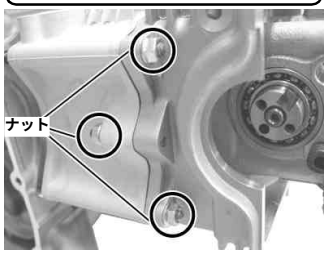
◇シリンダ―ヘッドサイドナット２個にきれいなエンジンオイルを塗布し、規定トルクで締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）



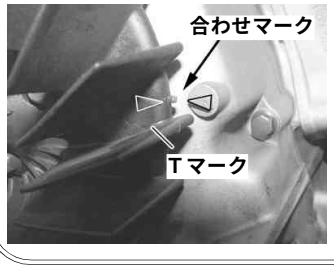
※写真の形のヘッドの場合は３個のシリンダーヘッドサイドナットを規定トルクで締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

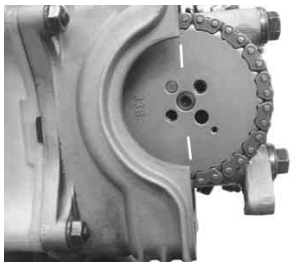


⑤カムシャフトスプロケットの取り付け

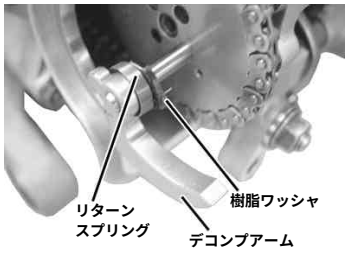
◇カムチェーンを手で保持しながらクーリングファンを時計回りに回転させ、クーリングファンの△印とマグネトローターカバーの△印を合わせる。



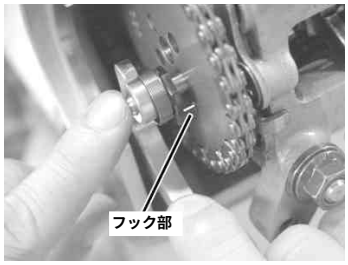
◇カムシャフトのカム山を燃焼室側に向ける。
◇カムシャフトスプロケットのケガキ線をシリンダ―ヘッドカバーの合わせ面に平行にし、カムシャフトスプロケットの各穴位置が写真と同じになるようにカムシャフトスプロケットにカムチェーンを取り付ける。カムシャフトスプロケットをカムシャフトにはめ込む。



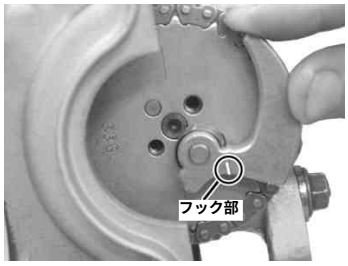
◇デコンプアームにリターンスプリングおよび樹脂ワッシャを組み付ける。



◇デコンプアームをカムシャフトスプロケットに組み付ける。
※リターンスプリングのフック部をカムシャフトスプロケットの穴に入れて組み付ける事。

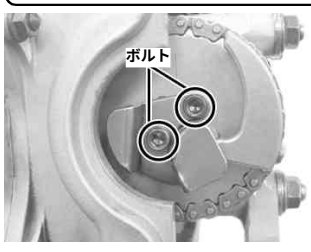


◇デコンプアームを時計回りに図の位置まで回転させる。
※リターンスプリングのフック部が写真の位置にあるか確認する事。



◇クーリングファンナットをレンチ等で回り止めする。
◇デコンプアームストッパの穴をカムシャフトスプロケットの穴とカムシャフトのネジ穴に合わせ、ボルト２本を締め付ける。
※ボルト２本はきれいに洗浄してから締め付ける事。またネジロック剤の使用を推奨します。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

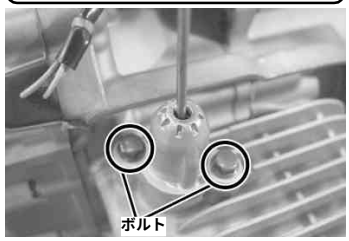


⑥カムチェーンテンショナ―アジャスタ―の取り付け

◇細いマイナスドライバーでカムチェーンテンショナ―アジャスタ―のスクリューを時計方向に回転させてプッシュロッドを一杯まで縮めてロックさせる。

◇キット付属のガスケット、およびカムチェーンテンショナ―アジャスタ―をシリンダ―に取り付けカムチェーンテンショナ―アジャスタ―ボルト２本を規定トルクで締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）



◇細いマイナスドライバーでカムチェーンテンショナ―アジャスタ―のスクリューを半時計方向に回転させてプッシュロッドを戻す。

⑦バルブクリアランスの調整

◇クーリングファンを時計回りに回転させクーリングファンの△印とマグネトローターカバーの△印を合わせる。
★この時カム山が燃焼室の方を向いていなければクーリングファンを更に一周回し圧縮上死点にする。
※必ず圧縮上死点の位置でバルブクリアランスの調整をして下さい。
◇アジャストスクリュ―とバルブステムの間に
ＩＮ０.０５～０.１０mm
ＥＸ０.１０～０.１５mm
のシックネスゲージを差し込み、引き抜く時に少し抵抗があるくらいの位置でアジャストスクリュ―を固定したままロックナットを締め付ける。
※アジャストスクリュ―の調整の際は、スズキ純正の特殊工具、タペットアジャスタドライバ―（０９９１７―１０４１０）の使用を推奨します。

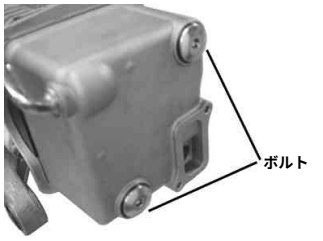
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

◇ファンを時計方向に２回転させバルブクリアランスを再確認する。クリアランスが変化している場合はクリアランスが規定値になるまで繰り返す。

⑧シリンダ―ヘッドカバーの取り付け

◇シリンダ―ヘッドカバーにシールガスケットを取り付ける。
◇シリンダ―ヘッドカバーボルトを締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１４Ｎ・ｍ（１.４ｋｇｆ・ｍ）



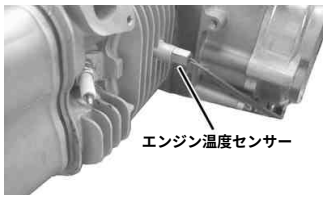
⑨スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグをまず手で締め込む。
プラグレンチを用いて締める。

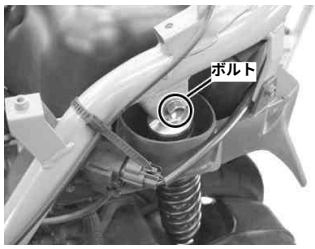
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

⑩シュラウドの取り付け

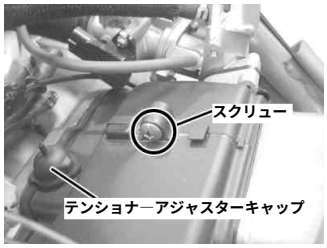
◇エンジン温度センサーを取り付ける。

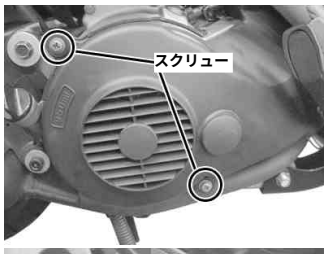


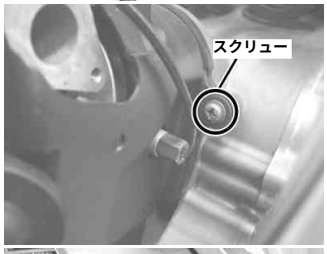
◇リアショックアブソーバーのアッパーマウントボルトを外し、車体後部を持ち上げる。

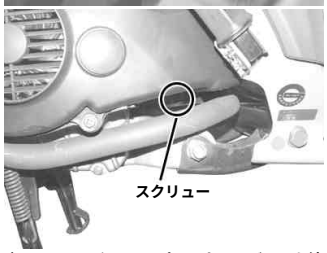


◇車体後部を持ち上げて出来た隙間からシリンダ―カウリング、ファンカウリングを入れ、シリンダ―カウルをボルト1本、ファンカウリングをボルト４本で取り付ける。
※シリンダ―のフィンにモールを確実にはめ込む事。









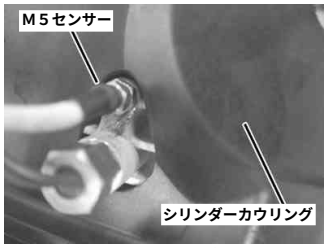
◇リアショックのアッパーマウントボルトを締める。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：２９Ｎ・ｍ（２.９ｋｇｆ・ｍ）

◇カムチェーンテンショナアジャスタのキャップを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：９Ｎ・ｍ（０.９ｋｇｆ・ｍ）

※弊社製Ｍ５センサー（０７－０４－０５５２）を使用される方はシュラウドのエンジン温度センサーが通る穴を拡大して下さい。



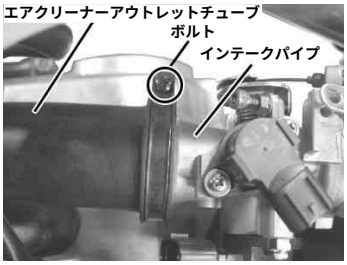
◇シリンダ―ヘッドカバーにブローバイホースを繋ぐ。

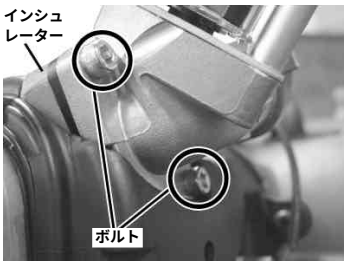
◇スパークプラグキャップを取り付ける。

⑪インテークパイプ＆スロットルボディーの取り付け

◇インテークパイプをエアクリーナーアウトレットチューブに差し込む。
◇インテークパイプとインシュレーター、インシュレーターとシリンダーヘッドの間にＯリングをセットしインテークパイプマウンテキングボルトを締め付ける。
◇エアクリーナーアウトレットチューブのクランプボルトを締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

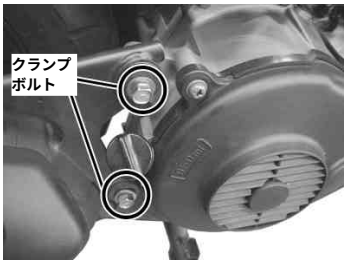




◇インテークパイプホールカバーをクリップで取り付ける。

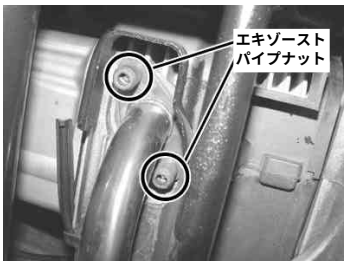
⑫エキゾーストパイプの取り付け

◇エキゾーストパイプガスケットを取り付ける。
◇シリンダ―ヘッドのスタッドボルトにエキゾーストパイプのフランジを差し込み、位置を合わせる。
◇エキゾーストパイプのフランジ側をエキゾーストパイプナット２個、マフラーステー部をマフラクランプボルト２個で仮止めする。



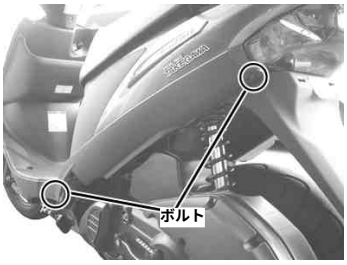
◇先にエキゾーストパイプナット２個を規定トルクで締め、次にマフラクランプボルト２個を規定トルクで締める。

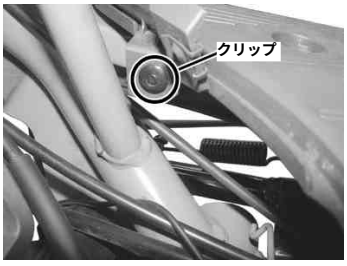
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
エキゾーストパイプナット
２３Ｎ・ｍ（２.３ｋｇｆ・ｍ）
マフラクランプボルト
２３Ｎ・ｍ（２.３ｋｇｆ・ｍ）



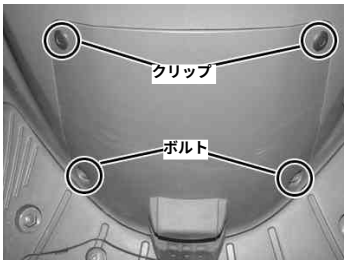
⑬ボディーカバーの取り付け

◇フレームカバー／フレームサイドロアカバーとリアコンビネーションランプをボルト４本、クリップ２本で取り付ける。

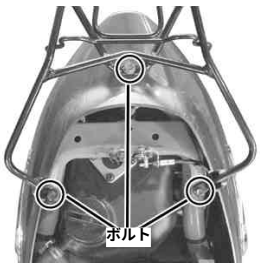




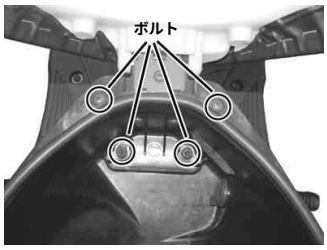
◇メンテナンスリッドＮｏ.２をボルトに２本、クリップ２本で取り付ける。

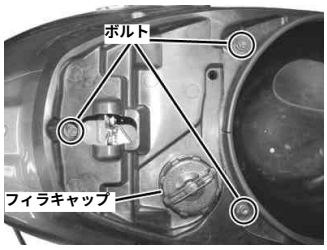


◇リアキャリアをボルト３本で取り付ける。



◇フィラーキャップを取り外しトランクボックスをボルト７本で取り付ける。ＤＣソケット付の車種はＤＣソケットにカプラを取り付ける。



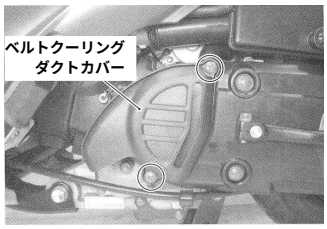


◇フィラーキャップを確実に取り付ける。

～ウエイトローラーの交換～

※ハイギアキット（０２－０４－６０１２）を取り付けられる方はハイギアキットの説明書も参照し、同時に作業を行なって下さい。

◇タッピングビスを取り外し、ベルトクーリングダクトカバーを取り外します。

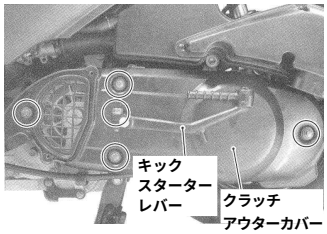


◇キックスターターレバー取り外します。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１３Ｎ・ｍ（１.３ｋｇｆ・ｍ）

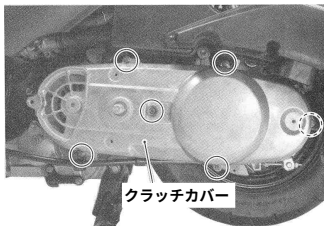
クラッチアウターボルトを取り外し、クラッチアウターカバーを取り外します。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：８Ｎ・ｍ（０.８ｋｇｆ・ｍ）

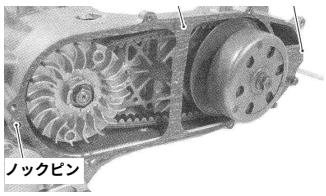


◇クラッチカバーボルトを取り外し、クラッチカバーを取り外します。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

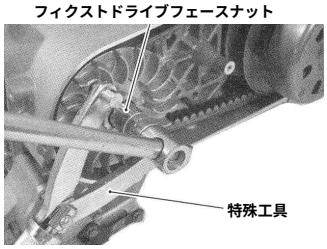


◇ガスケットとノックピンを取り外します。



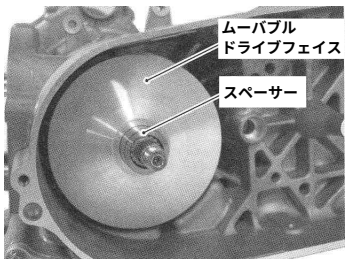
◇特殊工具を使用してフィクストドライブフェースナットを取り外します。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：５０Ｎ・ｍ（５.０ｋｇｆ・ｍ）



＜特殊工具＞ユニバーサルホルダー
：００－０１－１００２

◇スペーサーとムーバブルドライブフェイスを外し、ウェイトローラーをキット内のウェイトローラー１５ｇ６個と取り替えます。



※ムーバブルドライブフェイスとスペーサーには油脂類が付着しない様に注意して下さい。又、付着した場合は必ず脱脂して下さい。

◇以上の取り外し作業の逆手順にて、取り付けて下さい。
※各項目に記載されている規定トルクを守り、確実に作業を行なって下さい。

◇Ｆ.Ｉ.コントローラーの取り付け要領に従いＦ.Ｉ.コントローラーを取り付けます。
※各項目に記載されている注意事項を守り、確実に作業を行なって下さい。

●走行前の注意

①Ｆ.Ｉ.コントローラーについて

必ずＦ.Ｉ.コントローラーを取り付けてからエンジンを始動して下さい。Ｆ.Ｉ.コントローラーを取り付けずに使用されますと空燃比が非常に薄くなりエンジンが重大な故障を起こす恐れがあります。

②各部の点検

◇各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認する。
◇エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。
◇風通しが良く、安全な場所で充分注意してエンジンを始動し暖機運転させる。
◇エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれが無いか点検する。
◇エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか再度点検する。
◇この製品を組み込む事によりパワーアップされたエンジンは各部の消耗が激しくなりますので必ず定期的にメンテナンスを行なって下さい。
◇ウエイトローラーは消耗品です。定期的に点検し、磨耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ ０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル ０７２１－２５－８８５７
ＵＲＬ http://www.takegawa.co.jp